

一般社団法人 川崎建設業協会 一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会 ニュース



川崎大師 大本堂

- 新年を迎えて (一社)川崎建設業協会 会長 山根 崇
- 2021年市長年頭あいさつ 川崎市長 福田紀彦
- 寄稿 川崎北労働基準監督署長 松本進吾
- 槌の音 令和2年度 新執行部会 座談会

● 会員の作品

- 川崎港コンテナターミナル照明鉄塔基礎新設その他工事
株式会社 横山工務店
- 京町中学校校舎改修その他その3工事
株式会社 吉忠工務所
- 川崎市立井田病院斜面防護等整備工事
株式会社 織戸組
- 多摩区内市道子母口宿河原線道路擁壁補修工事
株式会社 三秀

協会ニュース

目 次

3 …… 新年を迎えて (一社)川崎建設業協会 会長 山根 崇

4 …… 2021年市長年頭あいさつ 川崎市長 福田 紀彦

■ 安全のページ

5 …… 最近の安全衛生行政の動向

川崎北労働基準監督署長 松本 進吾

■ 理事会ニュース

6 …… 9月太子講祭

6 …… 理事会ニュース

8 …… 懇談会・説明会・見学会・その他行事

8 …… 関係団体の動き

9 …… 各方面への協力

9 …… 表彰

10 … 特設作業隊関係

10 … 会員消息

■ 二世会だより

12

■ 槌の音

14 … 令和2年度 新執行部 座談会

■ 会員の作品

19 … 川崎港コンテナターミナル照明鉄塔基礎新設その他工事
株式会社 横山工務店

20 … 京町中学校校舎改修その他その3工事
株式会社 吉忠工務所

21 … 川崎市立井田病院斜面防護等整備工事
株式会社 織戸組

22 … 多摩区内市道子母口宿河原線道路擁壁補修工事
株式会社 三秀

25 … 編集後記



(一社)川崎建設業協会 会長
山根 崇

新年明けましておめでとうございます。協会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。本年が皆様にとって素晴らしい一年となるよう心から祈念いたします。

旧年中はコロナウィルスによって世界中が大きな影響を受けました。あ

れだけ活況であった航空業界が現在では倒産の危機に直面しています。日本においてもインバウンド需要により外国人観光客で溢れかえっていた観光地が事業の継続に苦慮しています。未だ飲食店も苦難の時代が続いています。いかに我々が自然の猛威に脆弱かを痛感する年でありました。我々建設業にとっても大きな変化をしなければならなかった一年であったと思います。協会のあらゆる事業が中止または延期、縮小を余儀なくされるなど大きな影響を受けました。また会員企業各社においてもコロナウィルスに対する対策をとられたことと思います。ソーシャルディスタンスを確保するために職場の環境を変更する、またリモートワークや時短勤務、時差出勤などが推奨され実施されたことと思います。緊急事態宣言直後においては現場作業を中止せざる負えない場合もかなりの件数ありました。確かになかなか浸透しなかったリモートワーク等が多くの会社で実施され、またズームなどのツールが今回のコロナ禍によって取り入れた企業が増加したことは働き方改革を考えるうえで今後につながることをと思います。しかし現場作業を中止した場合には大きな問題を抱えることもありました。天災ともいえる原因で工事をいったん中止したにもかかわらず、それでも工期を守ろうとするあまり工程に無理が生じ祝日の作業を行うなど働き方改革からは逆行するような事例も見られました。将来的には週休2日制を実施することが建設業に求められていますが、「工期を絶対守る」といった建設業にとっての当たり前が足枷となっているように思えます。またコロナ禍では助成金などにより労働者の報酬に与える影響は最低限に抑える事が出来ていますが、実際に週

休2日制を実施するためには日給月給などを見直していかなければならないと考えます。また、対面業務を減らすことによってコミュニケーションの減少を招き、意思疎通に問題をきたす事で安全対策等に問題があつてはなりません。今回のコロナ禍によって進んだこと、課題となる事が明確に出てきたように思えます。本当に働き方改革を行うためには、やはり発注者側も含め大きな意識改革をしていかなければならないのだと思います。本年は建設業協会としても働き方改革を進めていくために、協会員各社の意識改革は当然として、また行政への働きかけを今後も続けてまいる所存です。

また協会として特設作業隊の取り組みもより充実させて行かなくてはなりません。一昨年の台風による被災においては、行政からの災害要請により対応しましたが、その反省点も踏まえて今後、同じく台風、そして地震などあらゆる災害に対しても迅速に対応出来るよう特設作業隊を強化してまいりたいと考えています。そのためにも行政との意見交換を密に行い、支援、連携体制を整えてまいりたいと考えております。地域を守るのは地域に根ざした地元建設業の他にはあり得ません。私たちがこの川崎を守ると言った気概を持って行きたいと思います。

本年はコロナウィルスにより延期になった東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。延期されたことは選手にとって大変調整が難しいことと思います。しかしそうした努力も含め数多くの感動が生まれると信じております。まさにコロナウィルスに打ちのめされている世界中の人々に本当に大きな感動を与え、またコロナウィルスに打ち勝った、新たな時代へのスタートとしての祭典となるように思えます。選手のご健闘を祈念いたします。

未知のウィルスの戦いはまだ続いていますが、また地球環境が変化しかつてとは異なる災害の危険性もあります。経済活動はまだまだ縮小しています。でも前に進んでいかなければなりません。一般社団法人川崎建設業協会として今できることを一つ一つ行い、そして会員のため川崎市発展のためにまた市民のために協会として尽力してまいります。どうか今年一年もよろしくお願いいたします。

2021 年市長年頭あいさつ



川崎市長
福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

今年一年、皆様が健康かつ平穏に良い年をお過ごしになりますようお祈りいたします。

昨年、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、私たちの暮らしは一変しました。本市におきましても、市民や事業者、医療関係者の方々をはじめ、地域の皆様に御協力いただきながら、感染症の流行に全力で対応するとともに、厳しい生活を強いられる市民や事業者の皆様への支援などを実施してきました。今後も引き続き、皆様が安全・安心な生活を送れるよう、万全を期していきます。

また、新しい生活様式をふまえ、行政手続のオンライン化に積極的に取り組むとともに、市立小中学校等の児童生徒に一人一台の端末を整備するなど、「かわさきGIGAスクール構想」の実現に向けた取組を進めます。

本市の最重要施策である、地域包括ケアシステムの構築につきましては、年齢や疾病、障害等で対象を限定しない、全世代・全対象型の地域リハビリテーション体制の構築に力を入れて取り組んでいきます。間もなく供用を開始する「川崎市複合福祉センター ふくふく」を中心に、医療や介護が必要となっても、地域で暮らし続けることができる体制づくりを進めます。

また、新しい生活様式に留意しながら、誰もが気軽に集え、多様なつながりを育む地域の居場所である「まちのひろば」の創出など、「市民創発」によるまちづくりに向けて取り組み、「安心のふるさとづくり」を皆様と共に進めていきたいと思います。

こうした取組を支える「力強い産業都市づくり」として、

一層加速する社会経済状況や産業構造の変化に適切に対応するため、川崎臨海部における投資促進制度の創設などにより、産業の活性化や新産業の創出を図っていきます。あわせて、鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区役所・市民館・図書館の移転や、横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅への延伸に向けた取組など、魅力ある都市づくりを進めます。

これらの取組とあわせて、将来世代が安心して暮らせる環境を未来に引き継いでいくため、二〇五〇年のCO2排出量実質ゼロをめざす「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」のもと、市民・事業者・団体等の皆様と力を合わせ、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めていきます。「SDGs未来都市」として「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまちかわさき」をめざして取り組んでまいりますので、引き続き、御協力をお願いいたします。

最近の安全衛生行政の動向

川崎北労働基準監督署長 松本 進吾

新年あけましておめでとうございます。

令和2年4月1日に川崎北労働基準監督署長に就任いたしました松本と申します。一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様には、日頃から労働条件の確保、労働災害防止活動をはじめ、労働基準行政の推進に多大な御理解と御協力をいただいていることに対しまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

今回は、安全衛生行政における最近のトピックスについて、2点ほどお話をさせていただきます。

1. エイジフリーガイドラインの公表

総務省統計局が公表している労働力調査によると、令和元年の就業者数6,724万人のうち、55歳以上の就業者数は、2,054万人と全体の約30パーセントを占めています。

また、高年齢労働者の労働災害発生状況をみると、令和元年の労働者死傷病報告によると、50歳以上の死傷者は全体の5割以上を、死亡者は全体の6割近くを占める状況です。そして、高年齢労働者は、若年労働者と比較して、被災した場合に休業日数が長くなるなど、被災程度が重篤化するという傾向があります。

このような中、厚生労働省から令和2年3月16日、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(通称、エイジフレンドリーガイドライン)」が公表されました。

同ガイドラインは高年齢労働者の就労が一層進み、労働災害による死傷者に占める60歳以上の労働者の割合の増加が懸念される中、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向け、事業者や労働者に取組みが求められる事項を取りまとめたものです。

具体的には事業者に対しては、安全衛生管理体制の確立やリスクアセスメントの実施、身体機能の低下を補う設備・装置の導入などハード面の整備に加えて、勤務形態の工夫やゆとりある作業スピードなどの高齢労働者の特性を考慮した対策の実施などを求めているほか、高齢労働者に対しても、自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、日頃から、ストレッチや軽いスクワット運動、ラジオ体操や転倒予防体操を積極的に行うなど自らの健康づくりに積極的に取り組むよう務めることを求めています。

高齢社会においては、高年齢労働者が活力を失わずにその能力を発揮していただくことが必要であり、そのような職場を作っていくことが、本人のためにはもちろんのこと、企業や社会全体の活力を維持するためにも、非常に大切なこととなっています。

2. 職場のパワハラ防止対策の義務化

職場におけるストレスは、メンタルヘルス対策の大きな課題となっています。そして、職場におけるパワーハラスメントや嫌がらせ、いじめ、暴行、セクシャルハラスメント等の相談件数や、ハラスメントを原因とする精神障害の労災認定件数も、増加しています。

令和元年6月5日公布の「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律」の改正により定められた、パワーハラスメント防止対策の事業主に対する義務付けが、令和2年6月1日より施行されました(ただし、中小企業(建設業の場合は、①資本金の額又は出資の総額が3億円以下、②常時使用する従業員の数が300人以下、のいずれかを満たすものが該当します)については令和4年4月から義務化され、それまでの間は努力義務となります)。

今回義務付けられたのは、「事業主のパワハラ防止の方針等の明確化及びその周知・啓発」、「被害の相談窓口を設けるなどの労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備」、「職場におけるパワーハラスメントに係る事後の迅速かつ適切な対応」などで、労働者が職場におけるパワーハラスメントについての相談を行ったことや雇用管理上の措置に協力して事実を述べたことを理由とする解雇その他不利益な取扱いをすることも禁止されています。

また、セクシャルハラスメント防止対策も強化されており、自社の労働者が他社の労働者にセクシャルハラスメントを行った場合の協力対応も義務付けられました。

なお、労災保険の関係でも、令和2年5月に、精神障害の労災認定の基準となっている「心理的負荷による精神障害の労災認定基準」が改正され、「出来事の類型」にパワーハラスメントが追加され、「上司等から、身体的攻撃、精神的攻撃等のパワーハラスメントを受けた」が「具体的出来事」に加えられているところです。

以上、エイジフリーガイドラインと職場のパワハラ防止対策について述べてまいりましたが、いずれの取り組みにつきましても、労働基準行政において重点課題として取り組んでいるところではございますが、事業場の皆様方のご理解とご協力なくして実効をあげることはできません。

新型コロナウイルス感染症による影響が見通せない厳しい状況が続きますが、感染拡大防止を図りながら、引き続き、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

9月太子講祭

9月29日、川崎建設会館において、令和2年9月太子講祭は、52名が参加し開催され、自由参拝、慰霊法要を行った。本年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、講演会並びに懇親会は中止とした。

理事会ニュース

9月17日(木)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業活動について

総務委員会

◆令和元年度入札結果集計表(協会実績)について

◆健康診断の実施について

※令和2年度9月太子講祭の開催について

※会員従業員永年勤続協会表彰について

※川崎市労働問題懇談会委員の推薦について

川崎市長

任 期 令和2年9月から令和3年3月(7か月間)

被推薦者 副会長 大島 裕和

(平成31年4月から山根副会長)

※川崎市産業振興協議会委員の推薦について

川崎市長

任 期 令和2年11月から令和4年10月(2年間)

被推薦者 副会長 佐藤 雅徳

※建通新聞社「防災・減災」特集号への広告掲載について

※日刊建設工業新聞 創刊2万号記念第1集「国のかたちを考
える 一新時代に示す建設産業の羅針盤」特集号発行
に伴う広告掲載について

※健康診断の実施について

(1)日 時 10月28日(水) 午前9時～午後12時
(※午前のみ)

場 所 川崎建設会館

(2)日 時 10月29日(木) 午前9時30分～午後12時
午後1時～4時

場 所 川崎市民プラザ(高津区新作1-19-1)

※下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について

県土整備局事業管理部長

※「かわさき☆えるぼし」認証の応募について

市民文化局人権・男女共同参画室

※後継者育成講座の開催について

経済労働局工業振興課

※令和3・4年度競争入札参加資格審査申請(業者登録)の継

続申請のお知らせ(第2回)について

財政局契約課長

※市長部局及び上下水道局発注案件の工事請負契約に関する「一般競争入札のお知らせ」掲載方法変更について

財政局契約課

※新型コロナウイルス感染症のまん延防止に係る本県の対応について

神奈川県知事

※令和2年度秋の全国交通安全運動の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

実施期間 9月21日(月)～9月30日(水) 10日間

※第41回九都県市合同防災訓練・川崎市総合防災訓練について

川崎市長

日 時 11月8日(日)

場 所 宮内中学校ほか

訓練方針 新型コロナウイルス感染症の環境下における複合的な防災に対応するため、訓練内容や実施方法等を工夫し実施する。

(本年度は、道路啓開訓練が中止となりましたので、川崎建設業協会特設作業隊の参加はありません。)

※アフターコロナを見据えた高度外国人材採用オンラインセミナーについて

経済労働局国際経済推進室

※脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」への賛同及び同戦略(案)のパブリックコメントの実施について

環境局長(地球環境推進室)

(神建協・連絡)

※(株)神奈川建設会館の役員改選に伴う候補者の推薦について

被推薦者 常任相談役 村松 久

10月14日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業活動について

総務委員会

健康診断の実施について

企画委員会

特設作業隊帽子の製作について

※令和2年9月太子講祭収支等の報告について

※令和3年正月太子講祭の開催について

※令和3年正月太子講祭実行委員会の編成について

※第19回建設業災害防止協会神奈川支部 川崎南北分会合同安全大会の共催について

日 時 11月20日(金) 午後2時～4時
場 所 川崎市産業振興会館 1階ホール

※令和3年「かいぎしょ」新年号への誌上年賀掲載について
※赤い羽根共同募金運動へご協力について
社会福祉法人神奈川県共同募金会川崎市支会連合会会長、
川崎商工会議所会頭、川崎南法人会会長ほか連名
※令和3・4年度川崎市競争入札参加資格申請における経営
規模等評価結果通知書の取り扱いの変更について

財政局契約課長

※建設業退職金共済制度の加入促進履行確保について
財政局契約課長
※契約規則に定める川崎市工事請負契約約款の一部改正に
ついて

財政局契約課

※令和2年度川崎市労働災害防止研究会への参加につ
いて

川崎市長

日 時 10月27日(火) 午後2時30分～4時30分
会 場 川崎市産業振興会館 1階ホール
参加依頼人数 3名程度

※令和2年度違反建築防止週間について

まちづくり局長

実施期間 10月15日(木)～10月21日(水)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた登録基幹技
能者講習の講習修了証有効期限の取扱い等について

県土整備局事業管理部長

※弔慰について

◆相談役 ジェクト 株式会社

相談役 市川 清様(98歳)8月17日ご逝去

◆理事、土木委員会委員

株式会社 三秀 代表取締役 根本 研様

取締役会長 三浦 秀雄様(70歳)10月10日ご逝去

(神建協・連絡)

特にありません。

11月11日(水)午前11時より 4階会議室において (川建協)

※令和3年正月太子講祭の招待者について

※令和2年度川崎市優良建築設計者表彰対象者の推薦につ
いて

まちづくり局長

令和2年度推薦予定：(株)山根工務店(建築委員会推薦)

※年末助け合い運動への協力について

※新聞各社への年賀広告掲載費の支出について

※事務局職員に対する年末手当の支給について

※令和2年度違反建築防止週間の一環として実施した一斉
公開建築パトロールの結果について

まちづくり局長

※建設業法施行規則及び建設業許可事務ガイドライン改正
に伴う神奈川県知事に係る建設業許可の取扱いの変更につ
いて

県土整備局建設業課長

※施工前協議方法の見直しについて

川崎市上下水道事業管理者

※年末年始の行事日程について

※弔慰について

◆有限会社 一(はじめ)興業 代表取締役 松村 日出
巳 様

ご母堂 松村 美津子様(97歳)10月30日ご逝去

(神建協・連絡)

※建設業関連団体合同賀詞交歓会 →中止

日 時 令和3年1月6日(水) 午前11時

場 所 横浜ロイヤルパークホテル 3階

12月9日(水)午前11時より 4階会議室において (川建協)

※かわさき市民放送「2021年の声の年賀状」について

放送予定日 1月1日(金) 午前9時～10時・午後5時～6時

※令和3年度予算への要望の回答について

川崎市長

※令和3年新年賀詞交換会について →中止

(協会、神中建川崎支部 共催)

日 時 令和3年1月5日(火) 午前11時

場 所 川崎建設会館 4階講堂

※コロナウイルス感染症まん延防止対策のため、飲食
は中止といたします。

※令和3年正月太子講祭について →中止

日 時 令和3年1月28日(木) 午後3時15分 太子開講

午後4時00分 開会

場 所 川崎日航ホテル12階 鳳凰の間

※コロナウイルス感染症まん延防止対策のため、着席
での対応となります。

※令和2年度「飲酒運転根絶強化月間」及び「年末の交通事故
防止運動」の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

飲酒運転根絶強化月間 12月1日(火)～31日(木)

年末の交通事故防止運動 12月11日(金)～20日(日)

※農業振興地域内農用地区域の適正な土地利用について

川崎市長

※新型コロナウイルス感染症のまん延防止に係る神奈川県

の対応について

神奈川県知事

※住居表示による住所変更

◆露木建設(株)

〒216-0043 川崎市宮前区野川台1-22-3(11月9日付)

◆藤和建興(株)

〒216-0042 川崎市宮前区南野川2-30-28(11月9日付)

◆藤原建設(株)

〒216-0042 川崎市宮前区南野川2-30-30(11月9日付)

※賛助会員の事務局移転・支部長の変更

◆(一社)神奈川県測量設計業協会 川崎支部

新：〒214-0036 川崎市多摩区南生田5-2-6

(有)江崎測量設計社内

TEL:044-977-3190 FAX:044-977-9699

支部長 江崎 一馬(有)江崎測量設計社 代表取締役)

(神建協・連絡)

※令和3年建設業関連5団体合同賀詞交歓会の開催について

→中止

日 時 令和3年1月6日(水) 午前11時

場 所 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階「鳳翔」

懇談会・説明会・見学会・その他行事

7月16日、川崎建設会館において、水道管路工事の工期等について上下水道局水路管路課長より説明を受け、土木委員会から重田委員長、藤原、月野副委員長が出席した。

7月21日、川崎建設会館において、協会ニュース編集委員会が開催され、令和2年9月号の発刊について検討した。

7月29日、川崎建設会館において、川崎区道路公園センター事業連絡懇談会が開催され、市側より道路公園センター大野所長をはじめ5名、南部都市基盤整備事務所課長補佐が出席、交建会から岡村会長はじめ12社が出席して、市の令和2年度事業について意見交換を実施した。

8月26日、川崎建設会館において、正副会長を始め執行部会は、上下水道局下水道部管路保全課より、排水樋管周辺地域における浸水に関する短期対策の取組について説明を受け、災害時における内水排水のための排水ポンプ車の運用について意見交換を実施した。

9月3日、川崎建設会館において、建築委員会は健康福祉局と今後の施設建替計画における課題等について意見交換会を開催し、市側から丹野施設課長ほか3名、当協会から山根会長並びに建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長ほか10名が出席した。

9月29日、川崎建設会館において、9月太子講祭が開催され、開会に先立ち令和2年度会員企業従業員永年勤続者表

彰を行なった後、山根会長挨拶、平沢僧正による会員物故者慰霊法要を行い、会員52名が出席した。

なお、本年度はコロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、講演会並びに懇親会は中止とした。

10月14日、川崎建設会館において、令和3年度正月太子講祭第1回実行委員会を開催し、開催方法等について検討した。

10月14日、藤倉副市長室において、山根会長、大島副会長は、藤倉副市長、健康福祉局 馬場総務部長をはじめ3名、財政局 津曲契約課長をはじめ2名と補助金事業に関する市内業者への優先発注について意見交換を行い、川崎市長あてに要望書を提出した。

10月28日、29日、労働安全衛生法に基づき、会員企業従業員等を対象に巡回健康診断が実施され、244名(川崎建設会館:125名、市民プラザ:119名)が受診した。

11月12日、川崎建設会館において、建築委員会は、財政局と来年度の入札契約制度等について意見交換会を開催し、市側より津曲契約課長、川端担当課長をはじめ3名が出席、建築委員会より大島担当副会長、大川原委員長をはじめ12名が出席した。

11月16日、川崎建設会館において、土木委員会は、建設緑政局、上下水道局、財政局検査課と技術研修会を開催し、建設緑政局より箕輪技術監理課長、内田道路整備課長、安部河川課長、志村道路施設課課長補佐をはじめ6名、上下水道局より森下水道管路課長、小林下水道管路課長をはじめ4名、財政局より津久井検査課長をはじめ2名が出席、土木委員会より正副委員長をはじめ9名が出席した。

11月16日、川崎建設会館において、土木委員会は財政局と来年度の入札契約制度等について意見交換会を開催し、市側より津曲契約課長、川端担当課長をはじめ4名が出席、土木委員会より重田委員長、藤原、月野副委員長が出席した。

11月27日、川崎建設会館において、交建会主催による「令和2年度安全講習会」が開催。終了後、稲毛神社において安全祈願祭が開催され、山根会長が来賓として出席した。

12月4日、川崎建設会館において、協会ニュース1月号掲載に向けた執行部会の座談会が開催され、協会と建設業界の現状や展望等について討議を行った。

関係団体の動き

7月15日、県建設会館において、第2回常任理事会が開催され、村松副会長と福島労務・環境委員長が出席した。

7月30日、波止場会館において、県土整備局幹部との懇談会が開催され、村松副会長が出席した。

8月18日、県建設会館において、建設系の大学、専門学校、

高校との教育懇談会が開催され、村松副会長と福島労務・環境委員長が出席した。

9月17日、ホテルメルパルク横浜において、令和2年度第5回常任理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

9月17日、ホテルメルパルク横浜において、関東地方整備局との懇談会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

9月24日、県建設会館において、令和2年度第3回理事会が開催され、村松副会長、大島、重田、佐藤理事、山根監事が出席した。

9月24日、県建設会館において、令和2年度第2回建設みらい委員会が開催され、大川原委員が出席した。

10月9日、中央合同庁舎において、「国土強靱化対策の延長及び地域建設業者向けの公共工事量の増加について」の要望書を小此木国土強靱化担当大臣にお渡しする機会をいただき、村松副会長が出席した。

10月13日、県建設会館において、第3回常任委員会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

11月10日、県横浜西合同庁舎において、県土整備局所長会との意見交換会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

11月16日、令和2年度(一社)神奈川県建設業協会の防災訓練が実施され、村松支部長と支部事務局が参加した。

12月2日、ローズホテル横浜において、令和2年度第7回常任理事会が開催され、村松副会長と福島労務・環境委員長が出席した。

各方面への協力

7月21日、市役所第3庁舎において、川崎市PPPプラットフォーム第1回コアメンバー会議が開催され、大島副会長、鳥羽建築委員会副委員長が出席した。

8月3日、川崎市産業振興会館において、令和2年度第1回川崎市産業振興協議会が開催され、山根会長が出席した。

9月15日、市第3庁舎において、川崎市労働問題懇談会が開催され、大島副会長が出席した。

9月23日、川崎建設会館において、第19回建災防川崎南北分会合同安全大会に関する打合せ会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

9月28日、川崎市コンベンションホールにおいて、令和2年度かわさき市民放送(株)第3回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

10月12日、市役所第4庁舎において、川崎市PPPプラットフォーム第2回コアメンバー会議が開催され、大島副会長、

鳥羽建築委員会副委員長が出席した。

10月16日、市役所第2庁舎において、川崎市優良事業者表彰式が開催され、山根会長が来賓として出席した。

10月27日、川崎市産業振興会館において、令和2年度川崎市労働災害防止研究集會が開催され、大島副会長をはじめ4名が出席した。

11月16日、川崎市コンベンションホールにおいて、かわさき市民放送(株)令和2年度第4回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

11月16日、県土整備局主催の大規模地震の発生を想定した震災対策訓練が実施され、県と災害時応急活動等の協定を締結している当協会も情報受伝達訓練に参加した。

11月19日・20日、和歌山県において、川崎市と和歌山県の連携イベントとして「紀州材・産地見学会」が開催され、大川原建築委員長が川崎市木材利用促進フォーラムの委員として出席した。

11月20日、川崎市産業振興会館において、第19回建災防川崎南北分会合同安全大会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

11月26日、川崎市産業振興会館において、令和2年度川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

11月27日、神奈川県建設会館において、神奈川県建設会館第61期定時株主総会が開催され、村松常任相談役、門ノ沢専務理事が出席した。

11月27日、パシフィコ横浜において、公明党神奈川県支部主催による「遠山きよひこ君を激励する会」が開催され、山根会長、大島副会長、門ノ沢専務理事が出席した。

12月7日、川崎日航ホテルにおいて、自由民主党神奈川県第10区支部第25回大会が開催され、山根会長、佐藤副会長が出席した。

表 彰

(敬称略)

会員企業従業員永年勤続協会表彰

9月29日、9月太子講祭において

石塚 一男	(株)石塚土木	宇井久美子	(株)小川組
鈴木 広太	(株)織戸組	脇坂 宗孝	(株)織戸組
川西 信一	(株)織戸組	高坂 晃大	(株)織戸組
中嶋 誠也	(株)幸栄工業	小林 貴之	(株)幸栄工業
藤井 靖	幸伸工業(株)	嶋田 憲嗣	ジェクト(株)
宮川 勇磨	ジェクト(株)	市川 太一	ジェクト(株)
鈴木 雅貴	(株)重田組	新宅 幸夫	重田造園土木(株)
具志堅 力	大栄建設(株)	福島 章太	大栄建設(株)

上村 翼 矢島建設工業(株) 鍋島悠二郎 矢島建設工業(株)
堀 倫子 矢島建設工業(株)

令和2年度川崎市優良事業者表彰

10月16日、川崎市役所第3庁舎において

土木部門 (株)三秀
(株)織戸組
下水管きょ部門 渡辺・神明共同企業体
大恵建設(株)
建築部門 (株)横山工務店
(株)吉忠工務所
水道施設部門 浅川・月野共同企業体
(株)黒川土木
造園部門 (株)三秀

若手技術者表彰

土木部門 佐野真太朗 (株)佐野建設)
加藤 武 (株)石塚土木)
水道施設部門 高橋 大地 (株)吉孝土建)

令和2年度川崎市労働災害防止研究集会

10月27日、川崎市産業振興会館において

川崎市労働災害防止功労者

(株)重田組 代表取締役 重田 洋一

川崎市労働災害防止功労団体

野州工業(株)

第9回スマートライフスタイル大賞

10月30日、市役所第4庁舎において

奨励賞(委員長特別賞)

ジェクト(株) 代表取締役 市川 功一

奨励賞(省エネ貢献賞)

(株)渡辺土木 代表取締役 渡辺誠一郎

特設作業隊関係

8月31日、多摩区役所道路公園センターにおいて、多摩区役所道路公園センターと多摩特設作業隊による事業説明会が開催され、市側から蔵内整備課長をはじめ3名、多摩作業隊から金光隊長をはじめ6名が出席した。

9月15日、麻生区役所道路公園センターにおいて、麻生特設作業隊は、麻生区道路公園センターと台風・積雪時等、緊急時における対応について意見交換会を開催し、麻生区道路公園センターより矢口所長をはじめ3名が出席、麻生特設作業隊より根本隊長、石川、芝原副隊長が出席した。

9月18日、高津区役所道路公園センターにおいて、高津

特設作業隊は、高津区道路公園センターと災害時における連絡や指示等、緊急時における対応について意見交換会を開催し、高津区道路公園センターより関整備課長をはじめ3名が出席、高津特設作業隊より浅川隊長、月野副隊長、佐野庶務班長が出席した。

9月23日、川崎区役所道路公園センターにおいて、川崎特設作業隊は、川崎区道路公園センターと災害時における対応について意見交換会を開催し、川崎区道路公園センターより河原整備課長が出席、川崎特設作業隊より石塚隊長、佐藤、松本副隊長が出席した。

9月28日、宮前区道路公園センターにおいて、宮前特設作業隊は、宮前区道路公園センターと台風等緊急時における防災に関する打合せ会を開催し、宮前区道路公園センターより佐藤整備課長をはじめ2名が出席、宮前特設作業隊より河合隊長代理、藤原副隊長をはじめ4名が出席した。

10月7日、幸区道路公園センターにおいて、幸特設作業隊は、幸区道路公園センターと台風等緊急時における対応について打合せを行い、幸区道路公園センターより小松整備課長が出席、幸特設作業隊より吉田隊長が出席した。

11月5日、川崎建設会館において、防災対策作業隊本部は、各区特設作業隊と災害時に係る川崎市との応援体制等について意見交換会を開催し、本部より山根本部長をはじめ7名の本部員が出席、各作業隊より正副隊長7名が出席した。

11月19日、幸区役所において、令和2年度第2回幸区自主防災連絡協議会常任理事会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

11月30日、幸区役所において、令和2年度第1回幸区災害対策協議会地域防災連携部会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

会員消息

弔事

相談役 ジェクト 株式会社

相談役 市川 清様(98歳)8月17日ご逝去
理事、土木委員会委員

株式会社 三秀 代表取締役 根本 研様

取締役会長 三浦 秀雄様(70歳)10月10日ご逝去
有限会社 一(はじめ)興業 代表取締役 松村日出巳様
ご母堂 松村美津子様(97歳)10月30日ご逝去

住居表示による住所変更

河合土木(株) (11月9日付)

〒216-0042 川崎市宮前区南野川1-6-3

露木建設(株) (11月9日付)

〒216-0043 川崎市宮前区野川台1-22-3
藤和建興(株) (11月9日付)
〒216-0042 川崎市宮前区南野川2-30-28
藤原建設(株) (11月9日付)
〒216-0042 川崎市宮前区南野川2-30-30

賛助会員の事務局移転・会長・支部長の変更

(一社)川崎塗装業協会

会長 柴崎 務 (6月25日付)

(一社)神奈川県測量設計業協会 川崎支部

支部長 江崎 一馬(有)江崎測量設計社 代表取締役)

事務局 〒214-0036 川崎市多摩区南生田5-2-6

(有)江崎測量設計社内

TEL:044-977-3190 FAX:044-977-9699



令和2年9月6日

令和2年度川崎市市民野球大会 中央支部大会Bクラス 一回戦

小田球場にて、「ボンバーズ」と対戦し、15対10、酒井透幹事の満塁ホームランも実らず敗退。



令和2年 9月11日

第3回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。リーダースカップ、川崎市建設青年会の令和2年度活動等、今後の活動について検討・協議した。また、川崎市環境局 地球環境推進室 赤坂慎一室長による、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」の説明を受け、川崎市の今後の取り組みについて学んだ。



令和2年 9月18日

川崎市建設青年会(三団体) 幹事会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。今年度のCSR活動について検討・協議した結果、東京オリンピック等も新型コロナウイルス拡大のパンデミック(世界的流行)への配慮から延期が決定されたことや、先行きも不透明であることなどを含め多人数で動いての三団体活動は中止とすることとした。



令和2年10月2日

第4回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。12月例会(会員忘年会)、1月例会(新年懇親会)等、今後の活動について検討・討議した。

令和2年10月10日

第92回 リーダースカップ →中止

千葉県長生郡長南町の南茂原カントリークラブにて開催を予定したが、台風第14号の進路予想の暴風雨を警戒し、中止することとした。

令和2年11月13日

第5回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。1月例会(新年会)、次回リーダースカップ等、今後の活動について検討・協議した。

令和2年12月11日

第6回 役員会・令和2年 会員忘年会 →中止

午後6時より、「とめ吉」にて令和2年の慰労をかねて計画したが、新型コロナウイルスの神奈川県感染レベルがステージⅢ(感染急増)に移行したことを受け、中止することとした。



令和2年度 新執行部会 座談会

一般社団法人川崎建設業協会の組織は、すべての正会員を以って構成される「総会」と、その業務執行を決定する「理事会」があります。そして、理事会において諮られる協議事項や連絡事項等の議題は、事前に「執行部会」において協議され決定されています。言い換えれば、協会運営の土台を作り上げているのが「執行部会」です。

令和2年6月25日、川崎建設会館において『第75回定時総会』が行われ、新体制での協会運営がスタートしました。今回の『槌の音』では、その新執行部会の方々に、協会と建設業界の現状や将来の展望を、座談会形式でお伺いしました。



山根協会長

吉田 本日、司会進行を務めさせていただく企画委員会委員長の吉田です。忌憚ないご意見をいただければと思います。

さて、前号の協会ニュースでは、新執行部のご挨拶とプロフィールを掲載しましたが、改めまして、就任にあたっての所信表明をお願いします。

山根 令和2年度の定期総会におきまして、一般社団法人川崎建設業協会（※以下協会）の会長に就任いたしました。執行部自体が大きく若返りを図ることとなりました。社会変化のスピードが大変速くなっている現代社会において、我々協会としてもスピード感のある対応力が求められていると思います。時流に乗り遅れることなく対応してまいりたいと考えています。

今年度から新たに総務委員会を設置し、会員の皆様への情報提供、会員サービスを提供してまいります。また、従来の企画広報委員会は企画委員会とし、外部への建設業の魅力発信、業界のイメージアップに努めてまいります。建築、土木両委員会は行政との連携をしっかりと図り、会員

企業の利益となるよう要望等をしてまいります。どうか会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

大島 2期目の建築担当副会長を仰せつかりました。前年度は建築委員長を兼務していましたが、現在は副会長として行政主導の協議会にも参加させていただいています。その席上で行政の考え方や異業種の方々のご意見をお聞かせ頂き、勉強させられることが沢山あります。出来るだけ多くの事を学び、協会運営に役立てていきたいと考えています。また同様に市長・副市長、市議会議長・各会派の団長とお会いできる機会も増えてきました。引き続き我々の思いを直接お伝えし、会員企業のお役に立てるよう努力して参ります。

重田 大島副会長と同様に2期目の土木担当副会長を仰せつかりました。また、引き続き土木委員長を務めさせていただきます。次代の建設業のあり方を見据え、社会貢献活動を中心とした各種事業を展開しながら、会員企業のため、引いては川崎市のために尽力する覚悟でございますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大島副会長



重田副会長

佐藤 今年度より、新たに副会長に任命されました。昨年度まで企画広報委員長を2期4年務めさせて頂き、過去の協会・委員会活動と合わせて23年間の経験を活かし、協会運営に邁進していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

横山 村松前協会長時代の2期に引き続き、会計理事を担当することになりました。山根新協会長率いる新執行部は平均年齢も若返り、協会運営にも新風が吹きこまれたように感じられます。私自身も気持ちを新たに、協会発展のために微力ながらも職を全うしていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

大川原 伝統ある建築委員会の委員長を仰せつかりました。身に余る重責とは存じますが、持てる能力を出し切り、協会発展のために精進する覚悟です。どうか今後共、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岡村 山根新協会長の肝いりで新設された総務委員会の委員長を拝命しました。身に余る大役と思っています。新しい事を色々と試行錯誤しながら、会員の皆様の経営環境向上のための事業を行っていきたくと思っています。会員の皆様からはご意見・ご要望をお寄せいただきたいと思います。少人数ですが、委員一同知恵を絞って精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

門ノ沢 2期目の専務理事を仰せつかりました門ノ沢です。1期目に引き続き、よりよい協会運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

吉田 今年度より企画委員会の委員長を拝命しました。昨年度までは企画広報委員会の副委員長を2期務めさせてい

ただきました。「かわさき市民まつり」での広報活動などの経験を活かし、さまざまなアプローチで協会の、そして地元建設業の魅力を積極的に発信し、イメージアップと若年就労者の確保などの課題解決に繋げていければと考えております。若輩ですが精一杯努力する所存ですので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田 では次に、協会に対する思いや今後の抱負についてお聞かせください。

大島 協会は60年以上の歴史があり、先代達に多くの実績を残していただいていた立派な団体であると認識しています。この素晴らしい組織を存続させるために、我々を取り巻く環境の変化に柔軟に対応していかなければいけないですね。

大川原 弊社も協会の会員である事に誇りを持ち、協会とともに歩み続けて参りました。これからも新時代に臆することなく邁進していきたいと思っています。

山根 残念ながら、平成バブルの時代には260社いた所属会員が、現在では102社まで減少してしまいました。長い不況が影響したことはもちろんありますが、組織としての必要性が薄れてしまっていた気がします。しかし昨年、川崎市が台風19号による甚大な被害を受けた際に、行政からの要望に対し、川崎市全区の会員が一丸となって作業隊として出動できたことは我々の存在意義を見出せた気がします。

重田 昨年の台風における作業隊の皆様のご協力には、改めて感謝申し上げます。

近年、全国で発生している自然災害は年を追うごとに多



佐藤副会長



横山会計理事

様化し、その頻度も増えています。多くの住宅や施設、また尊い命が奪われました。こうした災害時の復旧活動を含め、市民の皆様が安心して暮らせるための社会資本の整備、維持修繕を担う我々建設業の役割はこれまで以上に高まっています。

山根 その通りですね。昨年のような災害時の復旧活動は、地元・地域に根差す企業でなければ決して対応できないことがわかりました。これからも災害特設作業隊をもっと広く知っていただいて、また同時に作業隊の能力向上も図っていかなくてはならないと考えています。そのためには協会加入会員の増強が必要ですし、所属会員がしっかりと存続していかなくてはなりません。当然、協会に属し作業隊に加わることのメリットとして入札契約に対してインセンティブを求める活動も行っています。

大島 インセンティブ発注の要望と併せて、今後、特に建築工事に於いては、PPP・PFI等の民間活用型の発注が増えます。所属会員も含めた市内業者の受注機会が減少しない様に、行政との交渉を行いながら、少しでも多くの仕事を作っていけるような努力も必要です。

佐藤 私は今まで、労務委員会・企画広報委員会等、協会内部・外部を調整する委員会に所属させて頂いておりましたので、今後も川崎市や川崎市民・各他団体等に広く、そうした協会の存在意義を知らしめるべく活動したいと考えています。

横山 先ほど大島委員長から、この協会の歴史は60年以上になると言う話が出ましたが、創立当初の協会のあり方や役割と今のあり方は大きく違うのは勿論ですが、その

途中の10年毎の年代を見渡しても建設業を取り巻く環境や行政との関わり方には時代毎の変化があったと思います。ですから、この先、創立100周年を迎える頃のことには想いを馳せることはあっても誰も予測はつかないでしょう。やはり、日々の積み重ねを毎年毎年こつこつと続けることが大切なのかもしいと思います。協会の方々の中には沢山の有能な人材がいるでしょうから、知恵と力を結集して発展して行って欲しいですね。

佐藤 そうですね。10年後、20年後の協会の継続性を考えると、二世会など、若手の協会活動への参加機会を増やし、将来の協会運営に携える人材を育てていきたいですね。

岡村 私は協会の中の先輩方や仲間とおつきあいを通じて、建設業界人として育てていただいていると思っています。この点は本当に感謝をしているところです。

重田 そうやって会員同士、刺激を受けながらお互いに切磋琢磨して、経営者自身が研鑽に努めていかなければならないと思います。建設業の発展のために若い力を結集し、柔軟な発想力と果敢な行動力により、地域の活性化及び建設業の正しい理解と必要性を市民の皆様へ訴え、「技術と経営に優れた企業」を目指していく必要があるのではないのでしょうか。

岡村 伝統や良いしきたりを守りながら、新しい魅力を発信して、能力ある若い人が生き活きと働ける建設業界づくりを行って、地域の方や、また他の地域の方にも「川崎の建設業界はいいね」と言われるように力を注ぎたいと思います。

吉田 “川崎の建設業界はいいね”のフレーズいいです



大川原委員長



岡村委員長

ね。今年度、新たなスタートを切った企画委員会では早速、SNSを利用した積極的な情報発信ができる環境づくりを目指して議論を進めています。そういった媒体で、多くの市民の皆様にはフォローになっていただき、「いいね」を沢山いただけるような活動にしたいです。建築・土木という本業とは別に、会員企業の皆様に代わってこうした広報活動を行うことも、協会に求められている事業だと思っています。

吉田 この協会を専務理事という立場からご覧になって、どのように感じられていますか？

門ノ沢 就任した平成30年度は、歴史ある協会の専務理事として、仕事を習得するのに必死な1年目でありました。2年目になり、会員の皆様のご支援をいただきながら、行政や関係機関との窓口となり、ある程度はスムーズな協会運営ができたのではないかと考えております。山根協会長からお話がありましたが、昨年の台風では、協会始まって以来初めて、全区作業隊の出動による応急活動を実施しました。その際の反省点が数多くあったことから、今後、行政との調整を一層深めていきたいと考えています。

吉田 先ほど、我々を取り巻く状況や課題の変化についてお話がありました。そんななか一昨年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、国内でも第三波の感染拡大による医療崩壊が懸念されています。このような現状を踏まえて、将来への課題や展望など、お考えをお聞かせください。

門ノ沢 近年の建設業を取り巻く環境の変化に、会員の皆様には大変なご苦勞をされていることに対しまして、あら

ためて敬意を表します。新型コロナウイルスの感染拡大により、協会でも4月、5月の理事会を書面決議で開催するなど、かなりの影響を受けました。現在は第三波による感染拡大が市民生活や日本経済に再び大きな影響を与えてきております。今後、税収の落ち込みによる自治体の公共事業の規模縮小や民間企業に与える影響も懸念されます。

岡村 今回の緊急事態宣言下で感じたことは「人と会えない、繋がれないということがなんと日常が味気ないことか」ということでした。でもこれからのWithコロナの時代は人との繋がりがますます薄れていくことも懸念されます。業界団体としては新しい情報交換の方法や親睦の深め方を模索していかなければならないと思います。

山根 確かに、コロナによって人との関わり方・働き方が変わりつつあると感じますね。テレワークやリモートワークを導入している企業も増えていきますし、ズームなどによる遠隔間でのコミュニケーションも取れるようになってきています。大手建設会社ではスマート現場としてロボットの導入などにより現場内の密を防ぐ取り組みが行われていますが、当然そこには不足する職人への対応があるといえます。

岡村 ICT等の活用による建設現場の省力化・無人化が、労働人口の減少と相まって進められていくのでしょうか。新しい時代の流れに淘汰されないように協会としても勉強を重ねていかなければならないと思います。

重田 少子高齢化が進み、若年者労働人口も減少する中、労働力の確保が喫緊の課題です。従事者の流出を防ぎ、更なる若年労働力を確保するためにも、賃金の向上や長時間



吉田委員長



門ノ沢専務理事

労働の是正、週休二日制の導入等の待遇改善とICT施工等で生産性向上を図り、現在の従事者、そして若年層に対して魅力ある産業であることを 今 発信しなければ未来はないと思います。

山根 建設業の構造的な環境を変化させ、次代へつなげる建設業としなくてはならないということですね。

横山 私たちの仕事は住民の方々との関わりを避けて通れません。現場周辺環境への対応や安全安心への配慮は勿論のこと、作業時間帯の限定や週休二日制の導入など多くの事象に対応をしていかなければいけません。私たち地場建設会社の単独では中々対応しきれない課題を協会という存在がバックアップしていけたら良いのではないのでしょうか。

佐藤 我々建設業は、社会の基盤を作り、災害復旧などを担う基幹産業として絶対に衰えてはならない業界だと認識しています。それを支えるのは人であり、社会だと思います。

その社会に認められるような業界・団体にしていかなければならないのではないのでしょうか、その為には、協会員各会社が鋭意努力し生き延びる自社の体力を蓄えて行かなければならないと思っています。

その手助けを、今後、協会を通じて社会全体に発信して行ければと考えております。協会に入会して良かったと思える様な団体にしていきたいと思っています。

大島 そうですね。我々には、歴史と実績を兼ね備えた素晴らしい組織があります。いつの時代も強いから、賢いから生き残れる訳ではありません。時代の変化に柔軟に対応出来たものだけが生存できる世の中であると思います。まずは協会長を中心に新執行部がしっかりと団結し、会員企

業に対して色々なことを発信して行けるようにして行きたいと思います。また、会員企業の事業継承がスムーズに行えるようにすることが、協会を次の世代に継承していける唯一の方法であると思います。

門ノ沢 協会執行部と会員の皆様が一丸となって、行政並びに関係各位と連携を図り、地域に根差した建設業の発展につながるよう、なお一層努めてまいりたいと考えております。

吉田 不透明な先行きを案じて立ち止まっているわけにはいきませんよね。会員の皆様と協力して、さまざまな課題を克服していかなければならないと思います。

大川原 そのためにも、明るい未来に希望を持てる社会であってほしいですね。来年2021年は新型コロナウイルス感染症の早期の終息と、東京オリンピック・パラリンピックの無事開催を願っています。明るい未来があつてこそ、会員企業の皆様の会社存続と魅力あるより良い建設業界の実現があると思います。

マスク着用、ソーシャルディスタンス確保といった感染防止対策を行った、新様式での新執行部座談会となりましたが、皆様と闊達な意見交換が出来ました。建設業界の担い手不足や、雇用条件の改善、事業承継問題など、これまでの課題と併せて、新型コロナウイルス感染症による世界経済への不安など、問題や不安は山積していますが、新執行部の皆様からはそれらの問題解決に向けて、前向きな意見を聞くことができました。建設業の明るい未来に向けて、皆様と歩を共にしてまいりましょう。



工事名称 川崎港コンテナターミナル照明鉄塔基礎新設その他工事
工事場所 川崎市川崎区東扇島92番地
工事概要 照明鉄塔基礎新設(6か所[各20㎡])
 屋外高圧受変電設備基礎新設(2か所[8.4㎡・7.7㎡])
 屋外附帯(舗装撤去復旧、メッシュフェンス)
発注者 川崎市まちづくり局
工期 平成30年7月17日～令和2年3月13日
施工 株式会社 横山工務店
 ☆平成4、30、令和2年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者

会員の作品



工事名称 京町中学校校舎改修その他その3工事
工事場所 神奈川県川崎市川崎区榎町3-1-307
工事概要 既存校舎の特別教室、管理諸室及び廊下の内装改修工事、トイレ改修、電気設備工事、機械設備工事
発注者 川崎市まちづくり局
工期 令和元年5月7日～令和2年2月28日
施工 株式会社吉忠工務所
☆平成3、20、25、28、29、令和元、2年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者



工事名称 川崎市立井田病院斜面防護等整備工事

工事場所 川崎市中原区井田2丁目27番地ほか

工事概要 井田病院西側斜面の崩落を防止する擁壁を整備するとともに、斜面になっている公道(市道井田24号線)を歩行者専用道路として復元、整備する工事でした。斜面と民家とが近接していたため、近隣住民の方々への安全を第一に考えながら、遊歩道や階段を含む斜面の防護工事を行いました。

敷地造成工 N=1式
 法面工 N=1式
 擁壁工 N=1式
 排水構造物工 N=1式
 舗装工 N=1式
 縁石工 N=1式
 防護柵工 N=1式

発注者 川崎市病院局

監督官庁 川崎市中原区役所道路公園センター 整備課

工期 平成29年12月8日～令和元年12月20日

施工 株式会社 織戸組

☆平成19、20、25、28、29、令和2年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者



工事名称 多摩区内市道子母口宿河原線道路擁壁補修工事

工事場所 川崎市多摩区長尾3丁目10番地先

工事概要 既設道路擁壁が老朽化、コンクリート片が剥落する断面欠損や鉄筋の暴露が生じており、さらに擁壁背面の地盤から擁壁への浸透が断続し、部材劣化が著しかったため、地山補強土工法にて補修することにより、道路の安全を図る工事でした。

工事延長 L=164.4m 道路幅員 W=12.9~13.0m

地山補強土工 N=1.0式

場所打擁壁工 N=1.0式

転落防止柵工(ネットフェンス) L=135m

横断防止柵工 L=145m

車両感知器設置工 N=1.0基

足場工 A=2,190空㎡

発注者 川崎市

監督官庁 川崎市多摩区役所道路公園センター

工期 平成31年3月4日~令和元年12月27日

施工 株式会社 三秀

☆平成9、24、令和2年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者

川崎大師 大本堂

厄除け大師として知られる真言宗智山派大本山金剛山金乗院平間寺（通称：川崎 大師）の大本堂は、昭和 39 年 5 月に落慶されました。堂内には御本尊厄除弘法大師を中心に、不動明王・愛染明王などの諸仏が奉安されています。大本堂において毎日お護摩が修行され、世界平和、国家安穩、信徒安全が祈願されています。

また、古来より勅願寺に列せられた由縁によって大本堂大棟には菊花の紋章が許されています。

（川崎大師ホームページより）



編集後記

あけましておめでとうございます。

実質「令和」で初めての 1 年間を経験しましたが、昨年は

新型ウィルスによるコロナ禍

この一言で自分たちの生活様式が想像していないほど一変してしまいました。

新しい年を迎えましたが、自分の記憶上では初めて国民全員がこの先に不安を抱いて年を迎えたのではないのでしょうか？ 大幅な税収減少による公共工事の縮小やイベントや新規計画の延伸・中止等私たち業界を取り巻く環境も決して良いものとは思えません。

X JAPAN の YOSHIKI さんもメッセージで言っていた「神は耐えられない試練は、人に与えない」という言葉があります。明日の希望を胸に抱いて前向きに頑張っていけば形は変わってしまうと思いますが、必ず元の日常に戻るのではないのでしょうか？ 新型ワクチン接種ももうすぐ接種開始されると思います。夏には東京オリンピック順延開催もあります。年の初めは不安しか無いですが、年の終わりにには会員皆様を始め、ご家族、全ての人が笑って暮らせるような日々が来ることを心よりお祈り申し上げ、新年初めの編集後記を締めたいと思います。

実り多き年となります事を・・・

<編集部一同>

一般社団法人 川崎建設業協会
川崎市川崎区宮本町7番地5

一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部
電話 044-244-5156(代) FAX 044-211-2420

発行所…………… 一般社団法人 川崎建設業協会

川崎市川崎区宮本町7番地5

電話 044-244-5156(代) FAX 044-211-2420

発行責任者……………山根 崇

編集者……………一般社団法人 川崎建設業協会 企画委員会